

拝啓

仲秋の候 皆様にはお変わりございませんでーようか。
 先生方には、息子が中一の十一月から高校まで長い間
 ご支援頂きまして、本当にありがとうございました。
 親子共々、大変お世話になりました。

まさか自分の子供が不登校になるとは思っていませんでした。
 周りで不登校になっている子達がいましたが、どこか他人事の
 ように思っていました。息子は友達とも仲良くやっていたよう
 なのが、「ウチは大丈夫だう」と。

息子の不登校が始まつたのは、中一の夏休み明けからで、
 朝頭痛が起ることが続き、病院で、起立性調節障害と
 診断され、薬を飲むが一向に良くならない状態が続きました。
 学校に相談すると、「思春期によくあるようで、何人もそういふ子を
 みてますから、ゆっくりされて元気になつたら登校されて下さい。」

と言われ、様子をみて休ませていたら、一ヶ月が経つてしまひました。
 一か月、一ヶ月以上休んだら不登校ということを知らずから
 なんとか登校させたいと思い不登校に関わることをネットや
 本で色々調べまーたが、ほめて自信をつけさせてることが大事。
 やっくりと様子をみまーよ♪と子供が動き出すのを待つ対応
 ばかりで、どうしたらよいのか途方にくれておりました。
 不登校になつてから一ヶ月半の十月半ばに、主人がネットで
 たまたまペアレンツキャンプを見つけ、この状況をなんとか解決
 してもらいたいという気持ちで支援をお願いしました。
 復学コースの枠がいっぱいの為、最初の一ヶ月間は家庭学習
 コースでお世話になりました。

電話カウンセリングと家庭ノートのチャクを一々頂きましたが、
 今まで子供に対していかに先回りの対応をして、過干渉、
 過保護だったか、また子供の問題と親の問題を分けて
 考えることが出来ていなかたかを知りました。
 中一ギャップで新しい環境に慣れず、ストレスがたまつて

いたことも不登校の原因だったかもーれませんが、今まで、少しき具合が悪いと言えばすぐに休ませたり病院へ連れて行つてしまーた、また、テスト対策を提案したり、宿題を一緒にやったり、まず本人にどうーかとも聞かないでいました。

親が先回り、過干渉、過保護だ、た為、自分で考えて判断する力、また少しくらい具合が悪くても登校しなければいけない気持ちを弱くーーまい、結果、不登校になってしまったことを感じました。

また今まで不登校中落ち込ませるのはかわいそうだと思いつ明るい雰囲気にーーいたが、学校へ行けていない状態はおかげで、学校へ行くべきだと本人にわからせる為に、冷ます対応（明るく対応しない）をするようアドバイスを頂きました。

この時期が親子共々一番辛い時期でしたが、先生のアドバイスを信じてなんとか対応していきました。

それから一ヶ月後、復学コースの枠が空き支援して頂きました。アドバイス通り、なんとか対応させて頂いたおかげで、

登校刺激後、息子は学校へ行くことを決心できました。
登校の準備を訪問カウンセラーの先生方が息子と一緒に
色々と、うえたりチエックして下さりとても助かりました。
さて、二月半ばの登校当日は、先生方の励ーを頂き、
訪問の先生方と登校、途中お友達と合流ー登校ー行つた
ことを教えて頂きました。

息子があけないほど何事もなく登校ーた姿にはびっくり
しまーれ、あんなに学校へ行けていなかたのに…。
嬉しいといふより不思議な感じでしたが、先生方に
「おめでとうございます」と声をかけて頂き、や、と登校できて
本当によかたといふ気持ちが込み上げてきました。
息子が帰宅ー学校はどうだ、とか聞くと
「学校? フツーによかたよ、なんて早く行かなかったんだろうと思つたよ。」と話していました。
本人もどうして不登校になってしまったのかわからない状態
だ、たようです。

もしあのまままだ、たら、復学ではなく、フリースクールや他の学校へ行くなど、別の選択をしていたかもれません。でも、学校に戻れたことで、自分に自信がついたと思しますし、また、将来、どんな選択をしてても後悔しないだろうと思いました。家庭内での対応には限界がありまーた。

ペアレンツキャンプのようなく登校専門の機関にお願いして本当によかっただと思いまーた。

今、息子はおかげさまで高校生活を楽しく過ごしてあります。勉強面ではまだ不安もありますが、過干渉、過保護にならないよう、サポートして様子を見ていけたらと思っております。

先生方には本当にお世話をなりました。電話力ウンセリングでは、誰にも相談、話せない一番辛い時期から寄り添いお話を聞いて下さり、また、早朝や夜遅くでも的確なアドバイス、ご指導頂き、とても

心強かったです。本当にありがとうございました。

訪問カウンセリングでは、お泊まりして対応して下さったリ
夏休み・冬休みの宿題など色々と息子のことを見下
下さりありがとうございました。

息子が「訪問の先生方に会えてよかったです。感謝一か
ないよ」と復学準備中に涙ながらに話してくれたことが
とても印象に残っています。復学するまで息子を精神的
にも支えて下さりありがとうございました。

息子を救って下さり、また、我が家の人生も救い変えて
頂いたことに感謝致します。

子供はいずれは自立するもの。自立させる為には、親は
できるだけ子供に色々なことを体験させ、考える力を
つけさせるようになってなければいけないこと、親は子供を
信じて任せることを学びました。

家庭教育で学んだことを忘れずにこれからも子供に

接していらっしゃると思います。
不登校で悩んでいらっしゃるご家庭の為に全国を
飛び回つていらっしゃる先生方、どうぞお身体には
お気をつけて、これからもご活躍されますこと
お祈りしております。

敬具

平成三十一年十月九日